

**DATA：形成外科**

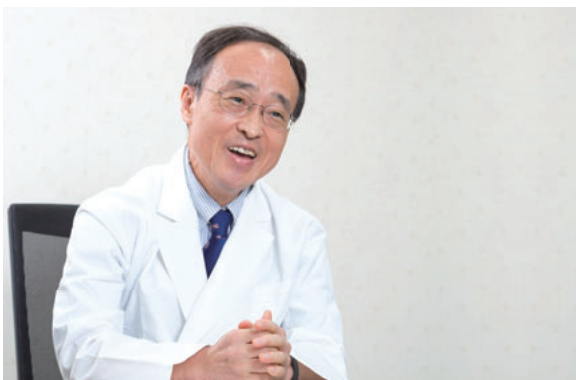
- 日本形成外科学会認定施設
- 主な対象疾患：【形成】癬痕やケロイド、眼瞼形成（眼瞼下垂症、眼瞼の内反・外反症、眼瞼痙攣）、皮膚腫瘍【整容】重瞼術、隆鼻術、しみ・しわの治療など【先天性異常】埋没耳、耳瘻孔、口唇裂、合・多指（趾）症などの治療【外傷】顔面外傷（顔面骨骨折、顔面深部損傷）、四肢外傷、熱傷など【再建術】腫瘍切除後（頭頸部腫瘍、乳がん、皮膚腫瘍など）や外傷後の組織欠損・変形・機能障害、顔面神経麻痺、リンパ浮腫、難治創（下腿潰瘍、膿皮症など）

## 新しい「形成外科」

当科では、非常勤2名を含む計6名の診療体制で専門性の高い治療を行っています。外傷や手術による傷や癬痕の治療、皮膚腫瘍、体表面の先天性異常などのほか、近年ではマイクロサージャリーなど顕微鏡を用いた治療が形成外科の可能性を大きく広げています。その最先端技術をリードする専門医が、従来法では治療困難な領域において高度かつ良質な診療を実践し、医療関係者だけでなく患者様からも高い評価を得ています。今回は、当科が誇る4分野の最新手技を紹介します。

### 1：顔面神経麻痺の再建手術

顔面神経麻痺は、病因の多くがウイルス性であり、発症早期には耳鼻咽喉科や神経内科領域で薬物治療が行われていますが、発症後数ヶ月～半年を経ても麻痺の回復が悪い場合には、当科の「顔面神経再建術」により麻痺の改善が可能です。これは麻痺した顔面神経に、神経は切らず神経の横腹に顔面のほかの運動神経（三叉神経や舌下神経など）を神経移植などにより繋ぐことで、顔面神経の回復を促すものです。神経の直径は1mm以下の場合もあり、縫合する手術は手術用顕微鏡下で行い



## マイクロサージャリーで、笑顔が蘇る

ます（マイクロサージャリー）。麻痺発症1年の経過でも麻痺が回復せずに表情が喪失してしまった場合は、体の別の部位から新たな筋肉を、血管や神経を繋いで顔面へ移植することで、笑いの表情運動を再び作り出すことが可能です。さらに形成外科の整容的なテクニックを駆使して麻痺による顔の垂れ下がりや歪みなどをきれいに矯正して治します。また顔面神経麻痺の後遺症としての、顔面のこわばりや意図せずに顔面全体が一緒に動いてしまう病的共同運動などの、治療が難しい病態に対する治療も積極的に行っています。これらにおいて当科は新しい手術や治療法を開発し良好な成績を収めて世界的にも注目を受けており、手術件数は年間50例を越え、千葉県内ではトップ、全国でも有数の顔面神経麻痺を専門とする施設です。



### 2：乳房再建

乳がん手術後の「乳房再建」には腹部や背部の筋肉・脂肪などの自家組織を移植する方法と、人工物を挿入する方法（インプラント）があります。数年前から乳房切除術を受けた場合のインプラントが保険適用になり、昨年だけでも全国で数千人がこの手術を受けています。当科ではマイクロサージャリーによる微小血管吻合を利用した脂肪移植による、体に負担の少ない自家組織移植も行っています。

# 整容面とともにQOLを高める治療を

形成外科

患者様は担当外科医より再発のリスクや適応の可否について説明を受けている場合が多く、患者様ご自身から希望されるケースもあります。再建を検討している患者様がいらしたら当科にご紹介ください。

やリンパ管を繋ぐ必要があり専門性、技術性ともに高度ですが、当院は全国3位の症例数を持つ専門医が非常勤として在籍し、安全、確実な治療を行っています。

## 3：リンパ浮腫の軽減

乳がんや婦人科・泌尿器科領域のがん治療のリンパ節廓清後に起こるリンパ浮腫に対し、皮下にあるリンパ管と近傍の細い静脈を繋ぐことで貯留したリンパ液を静脈に流して浮腫を軽減させる「リンパ管静脈吻合術」や「リンパ節移植」を行っています。リンパマッサージやストッキングなどの圧迫療法も有効ですが、それでも解消されない浮腫に対して効果を発揮します。1mm以下の細い血管

## 4：眼瞼下垂症の治療

高齢者のほとんどが罹患している眼瞼下垂症。ものを見るために懸命に眼瞼を持ち上げることで頭痛や肩こりを引き起こすことがわかってきましたが、手術により症状の改善が期待できます。基本的には局所麻酔で、両目合わせて1～2時間程度で終了します。また、ほとんどの場合で保険適用になります。当科は整容面にも充分な配慮をしますので、手術後、目元だけでなく顔全体が若々しくなって外出する機会が増えたという患者様も少なくありません。

### 患者様紹介について

顔面神経麻痺については、自然回復が期待できる例では発症後1年程度経過が見られてきましたが、1年経過した回復不良例では既に表情筋が萎縮して神経再建の効果が望めません。麻痺の回復傾向がみられない場合には早期よりご紹介ください。顔面神経自体の再建手術は早期に行うことが重要です。乳房再建、リンパ浮腫、眼瞼下垂については患者様から相談を受けたときなどに紹介をご検討ください。治療内容や適応につき丁寧にご説明します。

### information

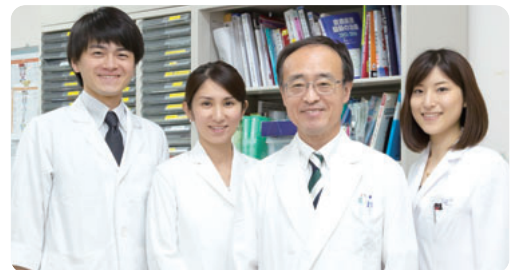
## 市川リレーションシップカンファレンスを開催します

地域のみなさまに安心して医療を受けていただくための体制構築に向けた、東京歯科大学市川総合病院と地域の先生方を結ぶ新たな取り組み“市川リレーションシップカンファレンス”。紹介・逆紹介においてそれぞれの専門性を最大限に活かせるように、相互理解を目的としたカンファレンスです。

- ❖ 日程：平成29年2月2日(木)
- ❖ 時間：19:30～21:00
- ❖ 場所：東京歯科大学市川総合病院 角膜センター3階会議室

●東京歯科大学市川総合病院形成外科の診療紹介  
(顔面神経麻痺再建、眼瞼形成、乳房再建、リンパ浮腫治療、皮膚腫瘍再建など)  
……田中 一郎

みなさまのご参加、お待ちしております。



形成外科 梶田 大樹    形成外科 助教 藤井 貴子    形成外科 教授 田中 一郎    形成外科 加藤 安声

医療機関の先生方へ

市川総合病院 診療情報提供書

検索

当院と地域の病院・診療所の先生方との間で、患者様のご紹介などを円滑に行えるように、「地域連携・医療福祉室」を設置しています。ご不明な点がございましたら、下記へお尋ねください。

地域連携・医療福祉室 TEL 047-322-0151(内線2214) FAX 047-324-8539(直通)

開室時間 月曜日～金曜日：午前9時～午後5時 土曜日：午前9時～午後1時(第2土曜日は休診日)